

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

第7号

未来へ自然をつなげる
そのためにできること



株式会社 ハウスペイント

本社・掛川店・倉庫 、 菊川店(菊川ハウス工房)



[環境活動レポート対象期間] 2023年4月01日～2024年3月31日

[環境活動レポート発行日] 2024年11月1日

目 次

1. 組織の概要・対象範囲	… P-1
2. 実施体制図	… P-2
3. 環境経営方針	… P-3
4. 環境経営目標	… P-4
5. 環境経営計画（2023年度）	… P-5
6. 環境経営目標の実績とその評価	… P-6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取り組み内容	… P-7
8. 次年度（2024年度）の環境経営目標	… P-8
9. 当社の取り組み	… P-9
10. 地域への貢献	… P-10
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	… P-11
12. 代表者による全体の評価と見直し・指示	… P-12

1. 組織の概要・対象範囲

(1) [事業者名]

株式会社 ハウスペイント

(2020年4月1日社名表記を変更 HOUSEペイント→ハウスペイント)

代表取締役 高橋 謙治

(2) [所在地]

静岡県 掛川市 中 2586-3 (本社・掛川店・倉庫)

静岡県 菊川市 本所 1511-2 (菊川店(菊川ハウス工房))

※ 菊川店は2023年12月に店舗を閉鎖した。

(3) [事業内容]

塗装工事業、リフォーム工事業

(4) [従業員数]

8名

(5) [環境管理責任者]
[活動事務局]

代表取締役 高橋 謙治
深津 早苗

(6) [連絡先]

Tel : (0537) 74-4433

Fax : (0537) 74-4485

E-mail : info@kandotenuri.com

URL : http://kandotenuri.com

(7) [建設業許可]

一般建設業 塗装工事業

静岡県知事許可(般-4)第38894号

更新日: 令和4年4月28日

有効期限: 令和9年4月27日

(8) [事業の規模]

1. 設立 平成26年4月24日

2. 事業規模

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	非公開	非公開	非公開	非公開
従業員	人	9	9	9	9
本社・掛川店事務所床面積	m ²	127	127	127	127
菊川ハウス工房床面積	m ²	87.4	87.4	87.4	87.4
本社・掛川店・倉庫床面積	m ²	76.8	133.1	133.1	133.1

(9) [事業年度] 4月1日 ~ 翌年3月31日

(10) [対象範囲、レポートの対象期間及び発行日] 表紙ページに記載

(11) [認証・登録の対象範囲]

活動 : 塗装工事、リフォーム工事

認証登録範囲 : 本社・掛川店・倉庫、菊川店(菊川ハウス工房)

※ 菊川店は2023年12月に店舗を閉鎖した。

全社・全組織の全活動を対象とする。

2. 実施体制図

代表取締役

高橋 謙治

作成日: 2023年04月01日

改訂 6: 2024年04月01日

作成者: 深津 早苗

環境管理責任者

高橋 謙治

エコアクション21活動事務局

福井由紀子

深津 早苗

本社掛川店
(事務所)リーダー: 福井
深津菊川店
(菊川ハウス工房)
リーダー: 高橋現場部門
リーダー: グループ職長

※菊川店は2023年12月に店舗を閉鎖した

代表者	1. 環境経営全般に対する責任と権限 2. 環境経営方針の作成と社員への周知 3. 環境経営システム全体の評価と見直し・指示 4. 実施体制の構築 5. 経営資源の準備
環境管理責任者	1. 環境経営活動の推進 2. 環境経営目標及び、環境経営計画の作成 3. 環境経営推進会議の推進
EA-21 活動事務局	1. 各部門のデータのとりまとめ 2. 活動計画の実績管理 3. 環境管理責任者補佐 4. 法規制最新版管理 5. 文書類（記録も含む）の管理 6. 経営者への進捗報告
各部門	1. 環境計画の実施 2. 改善の為に提案 3. 内部コミュニケーションの実施 4. 緊急事態の予防策、対応策の実施 5. 環境法規等の遵守

3. 環境経営方針

EA21 文書類 1

《企業理念》

私たちは、塗装工事やリフォーム事業を通じて、地域環境の景観美化を図り美しい自然、地球環境を次世代へ引き継ぐことを目指し、環境保全に配慮した事業活動と共に健全な経営に努め永続的な事業活動を行います

《環境経営方針》

環境経営活動を推進するにあたり、以下に主な活動方針を挙げ継続的改善活動に取り組めます。

1. 当社の主力事業である塗装工事業、リフォーム事業を通じて、環境に与える影響を低減させ、継続的な環境汚染の予防に努めます。
 - 1-1 省エネルギー活動として、電気使用量の削減につとめます。
 - 1-2 省資源活動として、ガソリン等燃料、水使用量の削減に努めます。
 - 1-4 地球環境に配慮した工事やリフォーム事業の推進を努めると共に顧客に提案していきます。
 - 1-5 環境に配慮した工事を実施いたします。
 - 1-6 現場状況に応じて、塗装、塗料を工夫し化学物質の適正管理に努めます。
2. 顧客を増加させる為、経費削減をはじめとし全社員の英知を結集しお客様の感動向上を通じ、顧客満足度向上に努めます
3. 事業活動に関する環境関連法規等、その他の要求事項を遵守します。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに環境経営に関しての教育を行い意識向上を目指します。

社外においては環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず、社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます。

2017年11月 1日 制定

2022年 4月 1日 改訂2

株式会社 ハウスペイント

代表取締役 高橋 謙治

4. 環境経営目標

EA21文書類 5

作成日 2023年4月1日
作成者 高橋 謙治

1. 2023年度(2023年4月～2024年3月)の環境目標

項目	単位	基準年度 2017年度	2023年度	
		2017年4月～2018年3月	2023年4月～2024年3月	
		基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	21,881.10	-3%	21,224.67
内訳	電力	kWh	-3%	15,007.84
	ガソリン	L	-3%	4,758.82
	軽油(建設現場用)	L	—	—
	灯油	L	-3%	266.75
	プロパンガス(LPG)	kg	-3%	22.48
産業廃棄物	混合廃棄物排出量	t	-2%	7.48
	廃油排出量	t	-2%	0.78
水道使用量	m ³	159.00	160m ³ 以下	155.82
経費の削減	塗装時養生とローラーの購入量の削減	本	(2021年度 実績値)5,328.00	2021年度より-1% 5,274.72

※二酸化炭素排出係数は、中部電力(2018年度)の調整後排出係数「0.421kg-CO₂/kWh」を使用します。

※二酸化炭素排出量(建設現場)は2017年度以後使用実績が無い為削除しました。

※グリーン購入は目標から削除し、環境経営方針に従い日常的に可能な限り優先購入します。

2. 中期の環境目標

項目	単位	2017年度 基準年度(実績)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO ₂	21881.10	-3%	-3%	-3%
内訳	電力	kWh	15472	-3%	-3%
	ガソリン	L	4906.00	-3%	-3%
	軽油(建設現場用)	L	642.11		-3%
	灯油	L	275.00	-3%	-3%
	プロパンガス(LPG)	m ³	11.2	-3%	-3%
産業廃棄物	混合廃棄物排出量	t	7.632	-2%	-2%
	廃油排出量	t	0.8	-2%	-2%
水道使用量の削減	m ³	160m ³ 以下	160m ³ 以下	160m ³ 以下	160m ³ 以下
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事の推進	件	提案する	水性塗料の推進 (1件)	水性塗料の推進 (1件)
経費の削減	資源等購入量(養生・ローラー)	本	2021年度実績値より -1%	2021年度実績値より -1%	2021年度実績値より -1%

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2018年度)の調整後排出係数「0.421kg-CO₂/kWh」を使用します。
- 2018年度以後軽油は使用していません。建設現場で、電力・ガソリンの使用予定はありません。
- 2022年度以後については2021年度維持を目指しますが、コロナ禍で不安定な為安定した時点で見直しをします。
- 建設副産物はリサイクルできるものが少ないので養生シート・テープ、塗装ローラーの廃棄物を減らすように努めます。
- 環境配慮工事の提案については弱溶剤塗料の施工も含め、水性塗料の施工を提案して行きます。
- 化学物質使用量は2品目を把握・管理していますが今後も水性塗料化を拡大し最小使用量を目指します。
- 経費の削減は現在もコロナ禍、原油高騰の情勢の中ですので原単価も上昇しています。
使用する主な建設資材の養生用具、塗装ローラー材の再使用やごみ発生の抑制を心掛け経費削減を目指します。
- 2017年度基準年度(実績)は情勢が安定した時点で見直しをします。
- 軽油の基準値642.11については2023年度の実績になります。

5. 環境経営計画（2023年度）取組期間：2023年4月～2024年3月

EA21文書6

作成日

2023年4月1日

実績日

2024年8月1日

作成者

深津 早苗

目的	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール					
					4月～7月	評価※1	8月～11月	評価※1	12月～3月	評価※1
二酸化炭素 Co2の削減	購入電力	事務所 照明	福井	① 未使用場所の照明off継続	→	○	→	○	→	○
				② OA機器の退社時の電源off継続	→	○	→	○	→	○
				③ 外照明のON・OFFタイマー設定	4月～7月 タイマー再確認	○	8月～11月 タイマー再確認	○	12月～3月 タイマー再確認	○
				④ 事務所の省電力型照明の導入	LED使用	○	LED使用	○	LED使用	○
		事務所 空調	福井	① 温度設定夏28℃ 冬20℃	エアコン使用時	○	エアコン使用時	○	エアコン使用時	○
				② 冬場のウォームビズの推進 (灯油の削減)	→	→	11月ひざ掛け等の 使用	○	ひざ掛け等の使用	○
				③ 空調機器エアコンのフィルター清掃 (簡易点検チェック)	6月 (フロン排出抑 制法に従う)	○	9月 (フロン排出抑 制法に従う)	○	12月、3月 (フロン排出抑 制法に従う)	○
				④ 使用していない部屋の空調停止	→	○	→	○	→	○
		充電工 具・コンプレッ サー	現場 チーム	① 過充電に注意 (チェックシート記載)	充電都度	△	充電都度	△	充電都度	△
				② エアー漏れの点検と修理 (チェックシート記録)	都度	△	都度	△	都度	△
	事務所	福井・ 深津		① 自動販売機の省エネ対策検討	(業者と夜間 照明の検討)	○	(業者と夜間 照明の検討)	○	(業者と夜間 照明の検討)	○
				② ペーパーレス化	検討	○	検討	○	検討	○
ガソリン 軽油	営業車・ トラック	事務局・ 現場 チーム		① エコドライブ	→	△	→	△	→	△
				② 作業車の整備・点検 (チェックシート記録)	都度	△	都度	△	都度	△
				③ 不要な荷物を積まない 積載物の確認	トラック積載 表(毎月末)	△	トラック積載 表(毎月末)	△	トラック積載 表(毎月末)	△
				④ アイドリングストップ (チェックシート記載)	→	△	→	△	→	△
				⑤ 効率的なルート	→	○	→	○	→	○
廃棄物の リサイクル	リユース リデュース 資源	再利用	福井・ 深津	① コピー用紙の両面使用	→	○	→	○	→	○
				① 整理・整頓・掃除(3S)	→	○	→	○	→	○
				② 3Rの実践 (養生・テープ・ローラー購入削減)	→	○	→	○	→	○
				③ 廃棄物の分別とリサイクル	→	○	→	○	→	○
	リサイクル	福井・ 深津		① 分別ルート新規開拓 (PETは自販業者随時回収)	→	○	→	○	→	○
				② 産業廃棄物のマニフェスト管理	→	○	→	○	→	○
				③ 産業廃棄物置場の適正管理	→	○	→	○	→	○
節水	上水	福井・ 現場 チーム	福井	① 節水表示（水使用量の削減）	節水コマの取 付、劣化看板の 取替	○	節水コマの取 付、劣化看板の 取替	○	節水コマの取 付、劣化看板の 取替	○
				② トイレ大・小排水の使分け (水使用量の削減)	節水弁の取付、 劣化看板の取替	○	節水弁の取付、 劣化看板の取替	○	節水弁の取付、 劣化看板の取替	○
				③ 高圧洗浄時の節水フロート 使用の徹底	随時	○	随時	○	随時	○
再利用	リユース リサイクル	福井		① 封筒の再利用	→	○	→	○	→	○
				② コピー機トナー回収リサイクル	→	○	→	○	→	○
経費削減	廃棄物の 抑制と減 量	建設資 材 購入量の 削減	現場 チーム	① 塗装時の養生使用量削減	購入量の データ取り	○	購入量の データ取り	○	購入量の データ取り	○
				② 塗装ローラーの削減	購買量の データ取り	○	購買量の データ取り	○	購買量の データ取り	○
化学物質管理	材料保管	建設資 材 購入量の 削減	現場 チーム・ 深津	① 塗料購入量の管理 (塗料購入量表)	→	○	→	○	→	○
				② 塗料を適正に保管	→	○	→	○	→	○
環境配慮工 事	環境 汚染配慮		各営業	① 断熱塗装材料、 水性塗料の提案・推進	→	△	→	△	→	△
地域貢献	交流		高橋	① 幼稚園・小学校・中学校への ボランティア活動	今年度は関係機関との協議で計画する					
			高橋	② 近隣道路 草刈・清掃	随時	○	12月	○	随時	○
			深津	③ 防災訓練	随時	○	12月	○	随時	○

※1（評価） ○印：実行できた △印：推進中 ×印：達成できず

6. 環境経営目標の実績とその評価

EA21文書類 11

作成日 2024年8月1日
作成者 深津 早苗

環境目標の実績（2023年度）

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2017年4月1日 ～ 2018年3月31日	2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量(全体)		kg-CO ₂	21,881.10	-3%	21,224.67	-14%	18,175.37	○
内訳	電力	kWh	15,472.00	-3%	15,007.84	-27%	10,932.00	○
	ガソリン	L	4,906.00	-3%	4,758.82	6%	5,044.62	△
	軽油(建設現場用)	L	—	—	—		642.11	—
	灯油	L	275.00	-3%	266.75	-72%	76.00	○
	プロパンガス(LPG)	kg	23.18	-3%	22.48	-65%	7.87	○
産業廃棄物	混合廃棄物排出量	t	7.63	-2%	7.48	-18%	6.13	○
	廃油排出量	t	0.80	-2%	0.78	0%	0.60	○
水道使用量の削減		m ³	159.00	-2%	155.82	-63%	57.00	○
経費の削減	塗装時養生と 塗装ローラーの削減	本	(2021年度実績値) 5,328.00	-1%	5,274.72	-10%	4,748.00	○

<備考>削減率は、目標値に対する削減量の割合である。【(実績－目標)/目標＝％】 達成できた＝○ ほぼ達成＝△ 未達成＝×

<評価・原因の追究と是正処置・再発防止対策>

方針1-1 電力	意識し積極的に節電し27%削減したが、今の世情と仕事量を考慮すると省エネ以外の要因が大きいと思う。 二酸化炭素排出量はガソリン使用量が多かったが、全体として14%の削減で「ほぼ達成」と評価する。																							
方針1-2 ガソリン・軽油	2018年11月に軽油車を廃止したが、今年度6月より1台導入した為、軽油使用料が加わった。 遠方作業、新規や顧客様への営業が多くガソリン使用量が6%増加したが、前年度より26%減少したのでほぼ達成とする。 二酸化炭素排出量はガソリン使用量が多かったが、その他のエコ活動により14%削減で目標達成と評価する。																							
方針1-2 LPG・灯油	LPG69%削減でき目標を達成した。 灯油はひざ掛け等を使用し、灯油の使用料を削減できたため72%削減でき目標を達成できた。																							
方針1-2 水道使用量の削減	意識して取り組めた。漏水確認や節水コマを昨年度取付け63%削減と目標を達成した。																							
方針1-3 混合廃棄物排出量 廃油排出量	混合廃棄物は分別を徹底し、23%削減で目標達成した。 混合廃棄物の投棄の仕方を考え、更に分別の種類を増やせるか計画する。 廃油については昨年度と同じ実績値で推移できた。 産業廃棄物の全量は6.32tでリサイクル率は100%で有った。 しかし施工件数もまだ少なく処分する量が少なかった事も考えられる。																							
方針1-4 環境配慮工事・リフォームの 顧客提案	水性塗料での施工を提案、推進しておりますが、お客様のご要望と一致せずに未達成になりました。 環境、省エネについてはお客様の関心も高くなってきてる為、今後も継続していきたい。 断熱塗料の普及も推進する。（2023年度は水性塗料施工・0件）																							
方針1-5 化学物質の管理	塗料等に含まれるトルエン、トリメチルベンゼンを集計する。 <table><tr><td></td><td>(年度)</td><td>2020年度</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td>トルエン(kg)</td><td></td><td>196</td><td>220</td><td>228</td><td>54.3</td></tr><tr><td>トリメチルベンゼン(kg)</td><td></td><td>419</td><td>635</td><td>400</td><td>391.52</td></tr></table> 塗料等の適正選択と適正管理に努めた。今後も水性塗料化を推進する。							(年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	トルエン(kg)		196	220	228	54.3	トリメチルベンゼン(kg)		419	635	400	391.52
	(年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																			
トルエン(kg)		196	220	228	54.3																			
トリメチルベンゼン(kg)		419	635	400	391.52																			
方針2 経費の削減	2021年度より目標に取り上げるべく検討したが、今の世情が平常化した時点で具体的数値化を検討したい。 使用する主な建築資材として、養生テープ、塗装ローラーの購買量のデータ取りを進めた。																							

7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取り組み内容

EA21文書類 11

作成日 2024年8月1日
作成者 深津 早苗

(取組期間: 2023年4月1日～2024年3月31日)

目的	項目	責任者	活動項目	評価と今後の取り組み		
				評価	内容(2023年度)	今後の取り組み
二酸化炭素 CO2の削減	照明	事務所	① 未使用場所の照明off	○	意識し取り組めた	継続し取り組み
			② OA機器の退社時の電源off	○	意識し取り組めた	継続し取り組み
			③ 外照明のON・OFFタイマー設定 (11月・5月)	○	意識し取り組めた	5月、11月外灯タイマーの確認と設定
			④ 事務所のLED照明の導入:検討	○	交換時にLEDを使用	継続し取り組み
	空調	事務所	① 温度設定夏28℃ 冬20℃	○	意識し取り組めた	継続し取り組み
			② 冬場のウォームビズの推進	○	意識し取り組めた	継続し取り組み
			③ 空調機器のフィルター定期清掃	○	意識し取り組めた	定期掃除する(6月・11月) 自動掃除機能付き
			④ 使用していない部屋の空調停止	○	意識し取り組めた	継続し取り組み
	充電工 具・ コンプレッ	現場 チーム リーダー	① 過充電に注意	△	チェックシートによる啓発	啓発、習慣化していく
			② エアー漏れの点検と修理	△	チェックシートによる啓発	啓発、習慣化していく
		事務所	① 自動販売機の省エネ対策検討	○	2020年4月 縮小した	他、対策検討する
			② 冷蔵庫の保冷対策	○	保冷カーテンの取替	他、対策検討する
	乗用車 トラック	現場 チーム リーダー	① エコドライブ	△	習慣不足、社員の意識不足	啓発、習慣化していく
			② 作業車の整備・点検 (タイヤ空気圧)	△	チェックシートによる啓発	啓発、習慣化していく
			③ 不要な荷物を積まない	△	チェックシートによる啓発	啓発、習慣化していく
		事務所	① アイドリングストップ	△	習慣不足、社員の意識不足	啓発、習慣化していく
			② 効率的なルート	○	意識し取り組めた(ナビ使用)	年間の移動距離・燃料供給量の データ取りを提案していく
廃棄物の リサイクル		事務所	① コピー用紙の両面使用	○	意識し取り組めた	継続
			② 事務所の整理・整頓・掃除(3S)	○	事務所内の朝掃除	毎朝継続
		事務局・ 現場チーム	③ 作業現場の整理・整頓・掃除(3S)	○	意識し取り組めた	継続
			④ 3Rの実践	○	意識し取り組めた	継続
		事務局	① 分別ルート新規開拓 (PETボトルの分別)	○	自販機社の回収	継続
			② 産業廃棄物のマニフェスト管理	○	保管、管理	継続
			③ 産業廃棄物置場の管理	○	表示版の確認と保守	継続
節水		事務所	① 節水表示	○	看板の設置	継続
			② トイレ大・小排水の使い分け	○	看板の設置、節水コマの取付	看板の設置、節水コマの取付
	現場チーム		③ 高圧洗浄時の節水フロート使用徹底	○	意識している	チェックシートを活用 習慣化していく
経費削減		全従業員	① ムリ・ムラ・ムダの再点検(3ム)	△	プリント作成による啓発	啓発、習慣化していく
			② 4S、3Rの再確認	△	プリント作成による啓発	啓発、習慣化していく
			③ 目標の見える化検討	△	—	英知の結集
化学物質管理 (PRTR対象物質)		事務局・ 現場チーム	① 化学物質使用量の管理	○	文書類2 化学物質使用量の記録	継続
			② 化学物質を適正に保管	○	危険物取扱者票の掲示 消火訓練の実施	定期的消火訓練の実施
環境配慮 工事		事務所	① 断熱塗装の推進	△	提案していく	提案していく
地域貢献		事務所	① 幼稚園・小学校・中学校への ボランティア活動	×	コロナ禍にて自粛	状況に応じて実施する
			② 近隣道路 草刈・清掃	○	実施	7月草刈り、9月防災訓練実施に 変更予定

(評価) ○印:実行できた △印:推進中 ×印:達成できず

8. 次年度(2024年度)の環境経営目標

EA21文書類 5

作成日 2024年8月1日

作成者 深津 早苗

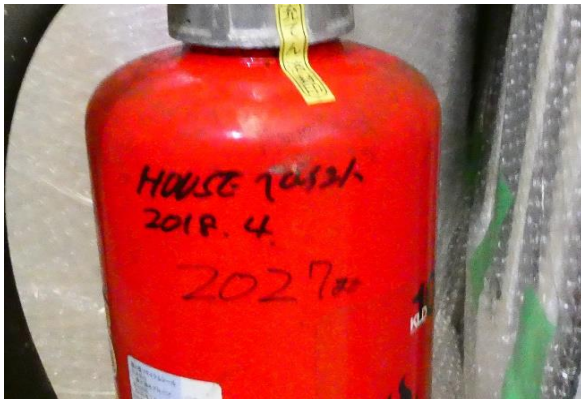
項目		単位	基準年度	次年度の環境経営目標		
			2017年度	2024年度		
				(2024年4月1日～2025年3月31日)		
			基準値	削減率等	目標値	
二酸化炭素排出量(全体)		kg-CO ₂	21,881.10	-3%	21,224.67	
内訳	電力	kWh	15,472.00	-3%	15,007.84	
	ガソリン	L	4,906.00	-3%	4,758.82	
	軽油(建設現場)※	L	642.11	-3%	622.85	
	灯油	L	275.00	-3%	266.75	
	プロパンガス(LPG)	kg	23.18	-3%	22.48	
	産業廃棄物	混合廃棄物排出量	t	7.63	-2%	7.48
廃油排出量		t	0.80	-2%	0.78	
環境に配慮した自社の取り組み		件	(2021年度実績) 1件	(水性塗料の提案) 1件	(水性塗料の提案) 1件	
経費削減	建設副資材の削減	養生、塗装ローラーの削減率及び本数	%(本)	(2021年度実績値) 5,328.00	-1%	5274.72本

- 1 二酸化炭素排出量削減については省エネ活動を定着させ目標を達成させます。
特にガソリン使用量削減については効率的なルート設定を徹底します。
年間の移動距離及び燃料供給量を把握するよう検討いたします。
- 2 建設現場での電力、ガソリンは使用しない予定です。
- 3 廃棄物については3Rを再徹底し習慣化します。
混合廃棄は内容物の再確認、廃油については水性塗料化を提案していきます。
- 4 水使用量は全体量が少なく目標達成が難しいと思いますが一層の意識向上をはかります
- 5 環境配慮については化学物質の適正管理及び使用量削減を目指します。
その他についても意識向上、断熱塗料、水性塗料の提案等を行います。
- 6 経費削減については2022年度より取り上げた項目です。
環境経営上重要な項目で有り目標値については建設副資材(養生・塗装用ローラー)の
年間購入数、金額を集計しました。
次年度集計結果と合わせ-1%の削減を目指します。
- 7 環境経営目標の全面見直しを今後の世情も踏まえて平常化した時点に検討します。
- 8 軽油の基準値642.11については2023年度の実績になります。

9. 当社の取り組み

消火器の設置場所の確認、消火器の扱い方 2023年 12月20日(水曜日)実施

1. 消火器の有効使用期限のラベル張り



消火器はすぐ取出しのできることできること。
消火器の周囲に物を置かない。

2 消火器の使用訓練の実施(事務所内・会社敷地内にて)



職人・事務員ともに防災意識を高め、いざという時に慌てず
素早く対処できるように行いました

文書作成日:2024年8月1日
文書作成者:深津 早苗
(株)ハウスペイント

10. 地 域 へ の 貢 献

会社近隣の清掃・溝堀り 2023年12月4日(月曜日)実施



廃棄物看板の緩み確認



会社看板の緩み確認



資源ゴミの分別表示付け



近隣の清掃活動と各箇所の確認

文書作成日: 2024年8月1日

文書作成者: 深津 早苗

11. 環境関連法規等の厳守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

EA21文書類 4

株式会社ハウスペイント本社・掛川店、菊川店(菊川ハウス工房)に関する環境関連法規は下記の通りです。

一覧表 遵守確認日 2024年4月1日

1. 環境関連法規等厳守状況

遵守確認者 相羽 健年

法規・条例・規制	要求事項	遵守状況
フロン排出抑制法	業務用空調機器（簡易点検） （7. 5kW以上は専門業者による定期点検） ・簡易点検：3ヶ月/1回 ・定期点検：3年/1回以上	○
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事の届出 ・解体工事 80㎡以上 ・新築・改築工事 500㎡以上 ・リフォーム工事 1億円以上	適用範囲での 施工工事なし
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理、運搬の委託管理表（委託契約・マニフェストの保管と管理） （保管場所表示・交付報告・処分場確認・水銀使用製品区分）	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	(1)産業廃棄物管理責任者の設置：同左の法令遵守、体制整備の任務 (2)産業廃棄物処理委託先の現地確認と記録保存：毎年1回、記録5年間保存	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の（資源循環）再商品化（指定家電品の適正引き渡し）	○
消防法	少量危険物（1/5以上1以下）の貯蔵・取扱の管理記録 指定数量 消火設備の定期点検 ・第1石油類（ガソリン等）：200ℓ ・第2石油類（灯油等）：1000ℓ	○
騒音規制法 振動規制法	空気圧縮機を使用する作業（原動機定格出力が7. 5kW以上は届出）	○
PRTR法	特定化学物質等の使用と取り扱い（消費量の把握・SDS入手・保管管理） 塗料・溶剤のSDS[安全データシート]の周知徹底（従業員21人以上等は報告の義務有り）	○ 適正管理
浄化槽法	保守点検（年3～4回）・清掃実施（年1回）（保守点検契約書・点検票の保管と管理） 法定検査（第11条検査）の実施（年1回）：（財）静岡県生活科学検査センター	○ 第11条検査
建設業法	一般建設業許可証（票）（塗装工事業の5年毎の更新）	○
環境基本法	地球温暖化対策推進（エコアクション21への取り組み）	○

《備考》 ○印:遵守 △印:対策検討 ×印::不遵守又は対象外

フロン排出抑制法、消防法、浄化槽法については対応した

2. 違反、訴訟等の有無

遵守状況を確認した結果、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。
周辺住民からの苦情・要望は、この1年間ありませんでした。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

EA21文書類 14

作成

2024年8月1日

1・見直し関連情報	項目	確認 (必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	☒ ガイドライン(2017)に従い作成を進めました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ 各箇所への営業また、顧客様回りと遠方作業工事等ガソリン使用が多く、32%と増加しました。その他のエコ活動により二酸化炭素排出量は目標達成しました。作業車での軽油の使用を始めました
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 水道使用量の削減は-66%と減少しました。使用者の意識向上また、節水弁の増設の効果が出たとも考えられます。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載した通り遵守出来たと評価します。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 工事現場周辺住民からの苦情・要望は特にありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 該当要件はありませんでした
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 別紙報告の通りです。
	8 教育、コミュニケーション、社会貢献	☒ 推進会議を中心に内部コミュニケーションと教育を実施した。引き続き継続する。 2023年度の塗装ボランティア活動は世情上、自粛した

2・代表者による全体評価・見直し指示	自分達が住む「世界」について考えた場合、今現在でも世界はめまぐるしく変化しています。開発途上国と呼ばれる国々と我々先進国との繋がりを今一度見直す必要性があります。 GDP(国内総生産と呼ばれ「ある地域である1定期間(例えば1年間)に生み出された付加価値の総額」を指す)で見た場合、1位中国・2位アメリカ・3位インド・4位日本…8位イギリス等々 ところが2050年のGDPでは8位日本と大きく後退し、その代わりに開発途上国が人口だけでも20億人も増え続け、2020年時点で9位以降だったインドネシアも日本を追い越し4位まで上がってくる予想となります。飛躍的な発展の可能性を秘めたポテンシャルの高い開発途上国ですが、 将来性への高い期待から進出する日本企業も増えてきています。このように社会や経済の発展の可能性を秘め今後ますます存在感を増やしていくと予想される途上国が私達の暮らしとどのような繋がりがあるのか、又GDPが低い途上国の中にはインフラが整っていない国も多くある一方で携帯電話の普及率が70%を超える国もあります。このような国々と我々が繋がりを持てないのか。 今一度検証してみる時代にもなっているのではないのでしょうか。そのような将来の目標を掲げ2024年度現在は経営戦略に取り組むのと同時に温暖化対策にも取り組む必要があります。なぜなら今現在実際に起こっている温暖化(世界の水不足・台風の増加拡大・異常な海面上昇等々)の進行をいかに遅らせる事ができるか、いかに食い止める事ができるか、それは我々1人1人の課題でもあります。その為には組織や事業者等が環境へ配慮した取り組みを主体的・積極的に行う必要があります。それにはあらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組むよう工夫しているエコアクション21に取り組む事が先決だと自負しております。 パリ協定の発効やSDGsの採択などにより近年、企業の環境経営を巡る情勢は世界的にみても大きく変化しています。 私達零細企業であっても全社員の取り組みにより世界的温暖化対策に大きく変動する事を目標に行動を促します。 2024年8月1日 株式会社 ハウスペイント 代表取締役 高橋謙治		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ ☒ 無	ガイドライン(2017)に対応出来る様定められている。経営上の「課題とチャンス」を明確にし全員参加で推進してほしい。
	2 環境経営目標	有・ ☒ 無	経費削減を目標に取り上げ改善してほしい。
	3 環境経営計画	有・ ☒ 無	全社員の英知を集め計画を再点検する。
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☒ 無	2023年3月に環境管理責任者を社長が兼務したが組織は大きく変更していない。各リーダーの活躍に期待する。
	5 その他のシステム要素	有・ ☒ 無	現システムを活用しガイドライン(2017)の趣旨に従い環境経営を推進する。
	6 その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	可能な範囲で社会貢献を果たしていく。